FutureVuls

製造業向け脆弱性管理サービス

脆弱性報告の義務化

違反時は制裁金の支払いが発生します

制裁金
全世界売上の
最大 2.5%

REGULATORY UPDATES

CRA対応を急ぐ、製造業のPSIRT・品質保証・製品開発部門へ

EU CRA｜欧州のサイバーレジリエンス法

2026年9月11日、脆弱性・インシデント報告の義務化が開始

こんなお悩みはないでしょうか？

体制・連携

脆弱性管理と
部署間連携が未整理

フォーマットも連絡手段もバラバラ。
重大インシデント時に報告が遅れ、
対応工数も膨らむ。

運用・判断

効率よく運用できる
ツールが分からない

要件は多く、何を基準に
選べばいいか分からない。
対応の優先順位もつけきれない。

情報管理

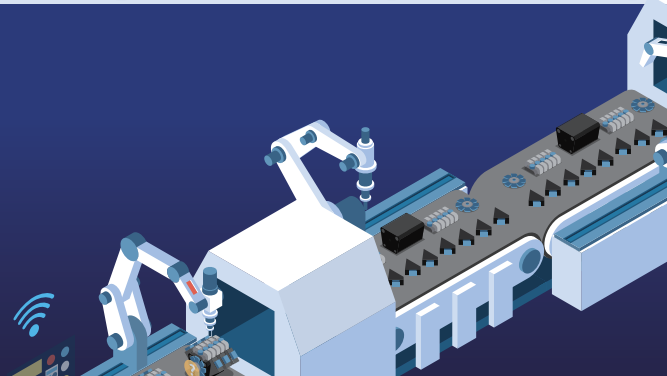
公開情報だけでは
脆弱性を網羅できない

公開データベースだけでは、
独自仕様の製品の
リスクまで拾いきれない。

CONTINUOUS CRA COMPLIANCE

続けられるCRA対応へ

- ✓ EU市場での販売停止リスクを回避
- ✓ 組織横断の一元管理で出荷した製品を守り抜く

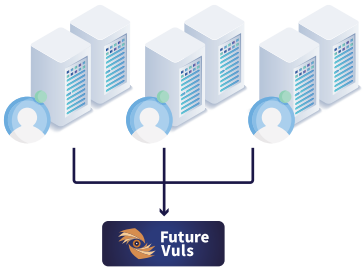


CONTINUOUS CRA COMPLIANCE

続けられるCRA対応へ

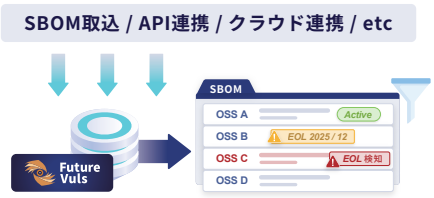
- EU市場での販売停止リスクを回避
- 組織横断の一元管理で出荷した製品を守り抜く

01 脆弱性を組織横断でスムーズに連携



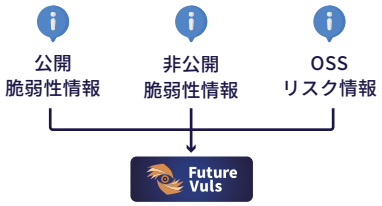
- 構成情報からトリアージ結果、タスク・コメントまでFutureVulsに集約
- 組織体制に応じた柔軟な権限割り当てとグルーピング

02 即時対応を絞り込み無駄な対応を削減



- 多様なインポート手法で製品の構成情報を登録
- 登録後はSBOMを自動生成し、常に最新の構成情報を維持
- SSVCによる自動トリアージで、優先対応すべきタスクを検知・通知

03 公開・非公開方法やOSSリスクまで徹底網羅



- 自社独自の非公開脆弱性情報も登録可能
- CVE・NVDだけでなく、EUVDにも対応
- OSSの健全性（ソフトウェアヘルス）やEOL・メンテナンス状況まで検知

Future Vuls

SBOM入力	情報提供		脅威情報	
多様な形式に対応	調整機関	会社窓口		
製品	SBOM	非公開脆弱性	CVE - XXXX - XXXX CVE - XXXX - XXXX Private - XXXX - XXXX	PSIRT / 製品担当 情報の閲覧 チケット更新
	スキャナ	脆弱性DB		
	手動登録			
複数組織の製品を横断的に一元管理	製品の構成情報を同期	脆弱性情報の取得	脆弱性の検知 優先順位付け	対応実施

FutureVulsのPSIRT向けプランは、製造業が取り扱う製品の脆弱性管理に特化したソリューションです。
組織横断で脆弱性とタスク状況を一元管理し、各部署でのバラバラな運用を回避します。「自社独自の脆弱性」の管理やSBOM生成をはじめとする豊富な機能で、CRAへの対応が可能となり、EU市場での販売継続に貢献します。

＼ 製造業の大手企業にも選ばれています ／

> 本来やるべき、製品の脆弱性を管理して
> 適切に対応する業務に集中できるようになった

10種類以上のツールを比較・検討のうえFutureVulsを採用。
長年使用した自社開発ツールから乗り換え、製品の脆弱性管理・対応にかかる手間とセキュリティリスクを大幅に削減しています。

導入事例

詳しい内容はこちらから

FutureVuls

ウェブサイトはこちら

概要資料をダウンロード

FUTURE
開発・提供
フューチャー株式会社 | Cyber Security Innovation Group
東京都品川区大崎1-2-2　アートヴィレッジ大崎セントラルタワー
https://www.future.co.jp/

販売代理店

vuls.biz